

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0402	生涯学習講座開催事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり					
対象	市民及び市内在勤者					
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所・振興センターでの生涯学習講座の開設 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・振興センターでの生涯学習・・・振興センターで開設						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	講座開催数		計画	400	228	228
			実績	359	259	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標		80.0	80.0
			実績		95.7	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/>	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
【H26成果指標の設定根拠】 ○まなび学園や各総合支所、振興センター等の講座参加者からの参加者アンケートによると、生涯学習機会の提供により、日ごろ学習ニーズを持って学習している市民の割合増加に影響を与えていると思慮される。今後も引き続き充実した講座を開催することで、参加者の学習意欲向上率を80%に設定した。  ・充実した講座を提供し、受講者の学習への意欲関心を引出したことによりもっと学んでみたいと思った方の割合は95.7%と、高い意欲向上率が見られた。	
目的妥当性	○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	公共関与の妥当性 ・市民のライフスタイルや生活課題が多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。  成果の向上余地 ・26年度は市主催講座数を2割程度減らし、個人や地域での自主的な学習活動への支援にこれまで以上に重点を置く転換を図るため、今後市民の自主的な学びへの取り組みが推進されるものと期待される。
効率性	事業費・人件費の削減余地 ・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない ○ どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 ・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である ○ 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
生涯学習のきっかけづくりや学習機会の提供するため各種講座を開設し、市民の自主的学習への意欲関心を持つ市民の育成を図った。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	0402	生涯学習講座開催事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			23,686		23,686
財源 内訳	国・県				
	地方債		900		900
	その他				
	一般財源		22,786		22,786

事業期間	○ 単年度繰返	■ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

文化の香り高いまちをつくります

事業開始の背景・経緯

市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市全域がまなびのキャンパスとなって、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。

事業概要

○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所・振興センターでの生涯学習講座の開設  
 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設  
 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設  
 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設  
 ・振興センターでの生涯学習・・・振興センターで開設

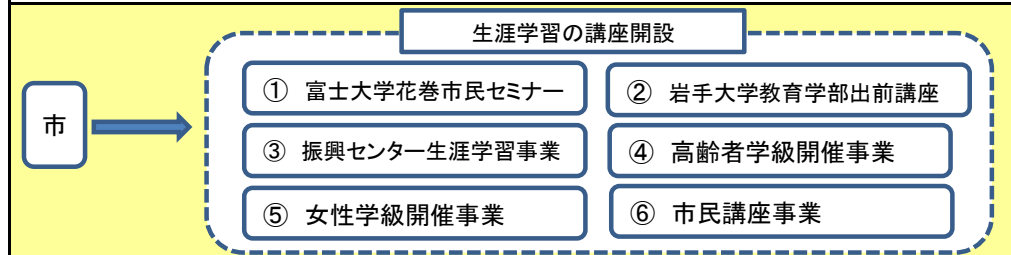
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

市が講座を開設することで、生涯学習のきっかけづくりや学習機会の提供を図っていくが、併せて個人や地域での主体的・自主的な生涯学習活動を誘発していく必要がある。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習交流課 担当係長 上野 剛 内線 401

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- H26講座数 259講座 (延1,001回)
- ① 富士大学市民セミナー 65千円  
報償費62、需用費3  
H26講座数1(延6回) まなび学園で実施
- ② 岩手大学教育学部出前講座 (ゼロ予算)  
H26講座数1(延5回) まなび学園で実施
- ③ 振興センター生涯学習事業 4,055千円  
賃金89、報償費3,179、需用費645、役務費106、使用料及び賃借料36  
H26講座数236(延722回)
- ④ 高齢者学級開催事業 1,143千円  
報償費717、旅費72千円、需用費304、役務費45、使用料及び賃借料5  
H26講座数4(延183回)  
○花巻 H26：講座数1(延156回)  
○大迫 H26：講座数1(延10回)  
○石鳥谷 H26：講座数1(延7回)  
○東和 H26：講座数1(延10回)
- ⑤ 女性学級開催事業 190千円  
報償費133、需用費49、役務費8  
H26講座数3(延19回)  
○花巻 H26：講座数1(延10回)  
○大迫 H26：講座数1(延5回)  
○石鳥谷 H26：講座数1(延4回)
- ⑥ 市民講座事業 947千円  
報償費283、旅費2、需用費267、役務費90、委託料299、使用料及び賃借料6  
H26講座数14(延66回)  
○花巻 H26：講座数9(延45回)  
○大迫 H26：講座数2(延5回)  
○石鳥谷 H26：講座数4(延16回)  
○東和 H26：講座数3(延18回)
- ⑦ 共通経費(社会教育指導員8人の任用等) 17,286千円  
報酬14,470、職員手当446、社会保険料2,093、使用料及び賃借料277